

札幌市緑の審議会
第2回緑の基本計画部会

(3) 札幌市緑の基本計画の検討資料

平成 21 年 9 月 28 日

構成案

はじめに

■ 札幌市緑の基本計画とは	2
■ 第二次改定の背景と目的	2
■ 計画の位置づけ	3
■ 計画対象	3
■ 目標年次	3
■ さっぽろのみどり	3
■ さっぽろのみどりのはたらき	3

みどりの将来像と計画の体系

■ 計画の基本理念	5
■ 基本理念を具体化するキーワード	5
■ みどりの将来像	5
■ みどりの将来像図[全体配置]	6
■ 将来目標	7
■ 計画の体系	8
■ “ つなぐ ” を実現するための手法	9

推進プログラム

■ 推進プログラム柱 1	市民等との協働の推進	1	0
■ 推進プログラム柱 2	街中のみどりの創出とネットワークづくり	1	5
■ 推進プログラム柱 3	街をとりまく緑の保全・活用とネットワークづくり	2	0
■ 推進プログラム柱 4	公園の魅力の向上	2	4

地域の活動指針

- この章では、それぞれの地域の特徴を活かしたみどりづくりに取り組むために、住宅地、商業地、川沿い、里地・里山などを、みどりづくりのモデルケースによって事例で提示します。将来像の具体的な表示や札幌市が推進したい取り組みなどを載せます。

協働の活動指針

- この章では、協働の主体である市民、各種団体、企業、大学等専門家、行政のそれぞれの主体が、みどりに関する取組みに数多く参加・参画するために、推進プログラムの具体的な事例と役割を提示します。

計画の進行管理

- この章では、計画の進行管理を目的に、進行管理のシステムを明確にします。評価方法や公表、推進体制や見直しについて提示します。

はじめに

■札幌市緑の基本計画とは

緑の基本計画
市町村が策定する「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」の通称。1994 年の都市緑地保全法（現・都市緑地法）改正で創設され、樹林地、草地、水辺地など都市における緑地の適正な保全と緑化の推進方策に関する目標や講ずる施策について定める緑に関する総合的な計画。緑地の配置の方針や緑地保全地区内の緑地の保全に関することなど地域の実情に応じて定めることとなっている。

環境意識の高まりや少子高齢化の進展、災害に強いまちづくりの推進など、緑をとりまく環境や社会背景をかえりみると、自然環境に対する保全や共生、安全で快適な生活環境づくりは、現代社会の大きな課題であり、地球規模の環境保全を考えるうえでも、緑によせる期待や役割は、今後もますます大きくなります。

札幌は、多様な動植物相に恵まれたわが国でも有数の大都市を形成しており、将来にわたって自然と調和した緑あふれるまちとして、幾世代にも住み継がれていくような都市環境を守っていくことは、今日我々に課せられた使命です。

札幌市緑の基本計画は、これからの時代に向け、環境保全、防災、景観形成、レクリエーションといった緑が持つ様々な機能を十分発揮させながら、次代の札幌の緑を創出保全していくための指針となるものです。

■第二次改定の背景と目的

本市では、札幌市都市緑化推進条例（現・緑の保全と創出に関する条例）に基づいて、昭和 57 年（1982 年）に「札幌市の緑の基本計画」を策定し、緑化の推進に努めてきました。

その後、平成 6 年（1994 年）に都市緑地保全法（現・都市緑地法）が改正され、「緑の基本計画」が法的に位置づけられたことを受け、平成 11 年（1999 年）6 月に 17 年ぶりに「札幌市の緑の基本計画」を改訂し、「人とみどりが輝くさっぽろ」を基本理念として、計画実現に向け、様々な機会を通じて市民とともに緑づくりに取り組み、策定後 10 年以上を経過して、一定程度の成果をあげてきました。

一方この間、景観緑三法の制定のほか、地球温暖化対策推進大綱、ヒートアイランド対策大綱、第 3 次生物多様性国家戦略の閣議決定などが行われるなど、地球環境保全の取り組みの重要性が増し、緑を取り巻く社会的状況が大きく変化しており、緑の基本計画においてもその変化に対応する必要があります。

さらに、札幌市では、世界に誇れる環境都市を目指す「環境首都・札幌」宣言を平成 20 年（2008 年）6 月に行うほか、平成 19 年 4 月に「自治基本条例」を施行し、"地球環境問題への対応"と"市民が主役のまちづくり"を市政の最重要課題の一つと位置づけました。

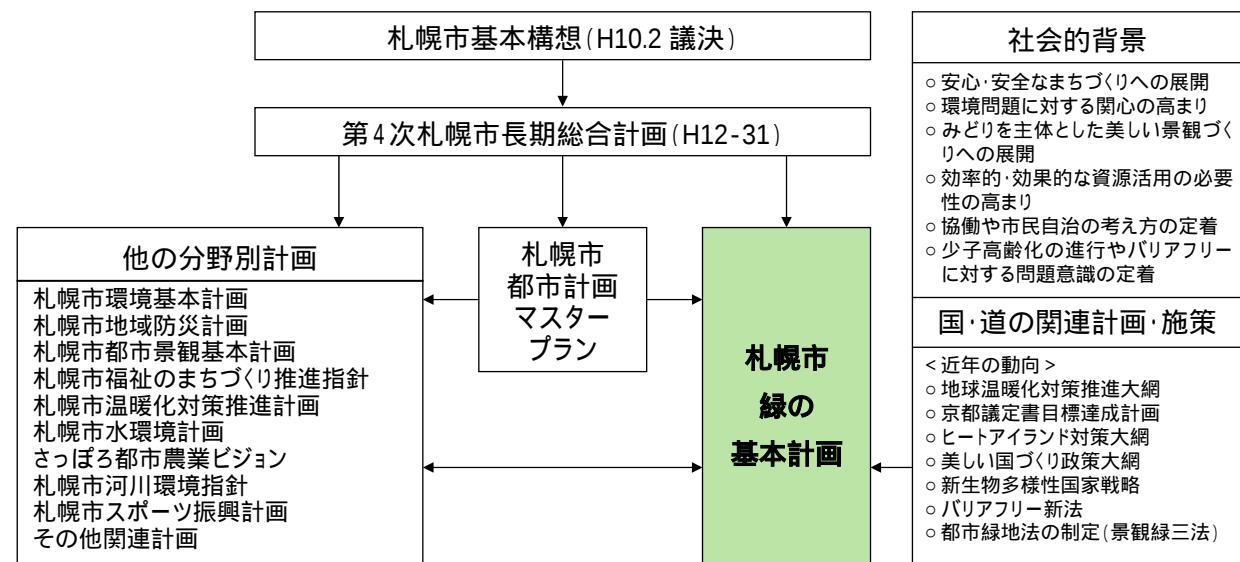
以上の点をふまえ、「札幌市緑の基本計画」を再度見直し、充実させ、「札幌市緑の基本計画第二次改定」として策定しました。

この計画は、札幌市の"みどり"に関する総合的な計画として位置づけられ、長期的な緑の将来像を見据えながら、市民の意見を取り入れつつ市民の参画を進め、これまで以上に市民との協働を通して、札幌のみどりのまちづくりを行うことを目的としています。

■ 計画の位置づけ

上位計画である「札幌市基本構想」、「札幌市長期総合計画」や、「札幌市都市計画マスタープラン」、「札幌市環境基本計画」との整合を図るほか、その他の分野別計画とも整合を図り、札幌市の緑化を総合的に推進するための「基本方針」として位置づけます。

● 札幌市緑の基本計画の位置づけ



■ 計画対象

この計画では、公園や公共地のみどりだけでなく、民有地を含む札幌のまちすべてのみどりとみどりづくりを対象とします。

■ 目標年次

この計画では、上位計画である第4次札幌市長期総合計画の目標年次にあわせ、計画目標年を概ね平成32年（2020年）として見直すものとする。

■ さっぽろのみどり

この計画における「みどり」は、札幌市内における公園、緑地、森林、農地、草地、河川・水面、及び、民有地や公共公益施設等の緑地や緑被されたオープンスペース、また、樹木単体や草花（コンテナや鉢などに植えられたものも含む）などのほか、緑づくりに関わる市民活動など、樹木などの緑だけでなく緑に関わる人づくりも包括する言葉として平仮名を用います。

■ さっぽろのみどりのはたらき

- 都市環境、地球環境を保全・改善する
 - ・ 樹木が増えることにより CO2 の低減や水源涵養につながります。
 - ・ 市内の樹木が適正に配置されることで、大気の浄化や水質保全、ヒートアイランド現象の抑制につながります。
 - ・ まちを取り巻くみどりが保全・創出・ネットワーク化されることで、コンパクト・シティの構築に貢献します。また、多様な動植物の生育・生息・移動空間となり生態系が保全されます。
 - ・ みどりのリサイクルの取組みが、循環型・低負荷型の都市形成に寄与します。

- 札幌らしい景観をつくりだす
 - ・ 藻岩山や豊平川といった、まちを取り巻く山並み、河川、草地等がまちに潤いを与え、札幌市を特徴づける風景・景観が形成されます。
 - ・ 北国の気候、風土に適した樹木や花が、四季を通じて街並みを彩り、地域の歴史的な緑やシンボリックな緑が保全・創出されることで、地域ごとの個性的な景観が創出されます。

- 安全・安心な環境インフラを形成する
- ・公園緑地をはじめとするオープンスペースは、災害時の避難地、避難路、延焼防止帯として適切に配置・ネットワーク化されることで、広域防災拠点等として重要な機能を果たし、市民の安全性や安心感を高めてくれます。
- ・雪の置く場所として機能するオープンスペースがきめ細かに配置されることで、快適な冬の暮らしが実現されます。
- ・地すべりや市街地の水害を防止する緑地、騒音や振動を緩和する緑地が適性に配置されることで、健全な生活空間が担保されます。

- 人々の様々な活動の場となる
- ・公園緑地などは、人々の心身の健康増進につながる、スポーツ、レクリエーション、休養、散策などの余暇活動の場となります。
- ・余暇時間の増大、価値観の多様化などに伴う、園芸活動や自然に親しむライフスタイルのフィールドとなります。
- ・家庭や学校、地域における自然教育、自然体験などの学習機会の場となります。

- コミュニティの醸成
- ・公園や緑地の維持管理に市民や民間が参加することで、みどりを通じたコミュニティが醸成されます。
- ・市民参加やパートナーシップによる、みどりや花を介した市民活動を通してまちへの愛着心が育まれます。
- ・緑や花に囲まれたゆとりとうるおいのあるくらしを享受でき、終の住みかとして選ばれるような環境が形成されます。

みどりの将来像と計画の体系

■ 計画の基本理念

札幌市が毎年実施している郷土意識に関する市民意識調査によると、「札幌の街が好き」という市民は9割を超え、その理由としては「緑が多く自然豊か」が上位となっており、緑豊かな都市環境は市民の誇りでもあります。

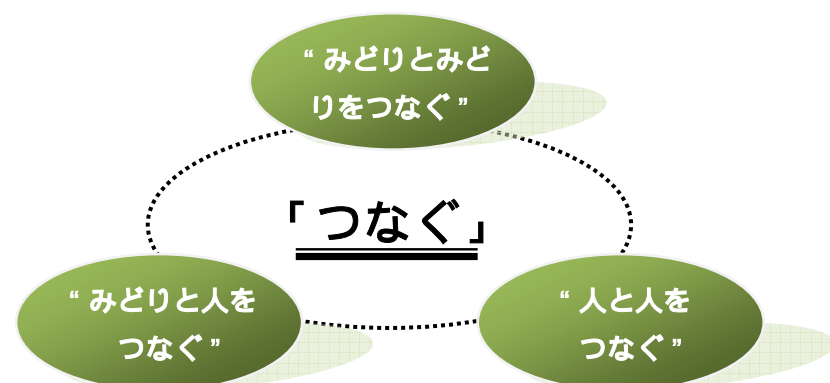
この計画を推進していくにあたっては、市民と手を携えながら、いまあるみどりを次代に残し、身近なみどりを増やしていくことで、豊かな自然と調和した札幌のまちづくりを進め、世界に誇れる環境都市を目指していくことを計画の基本理念とします。

生活に潤いや安らぎを与えてくれるみどりを
わたしたち自身が守り育てていく

・
**実現しようみんなの手で
人とみどりが輝くさっぽろ**

■ 基本理念を具体化するキーワード

みどりの保全や創出により、みどりとみどりをつなぎます。



みどりとふれあう場・機会・協働の場の充実を図り、みどりと人をつなぎます。

人材育成や環境教育の推進、交流・情報ネットワークの充実を図り、人と人をつなぎます。

■ みどりの将来像

札幌は、基本理念である「実現しようみんなの手で人とみどりが輝くさっぽろ」を受け、以下の4つを札幌が目指すべきみどりの将来像とします。

● 私たちが守り・育むみどり

私たちの生活において欠かすことのできないみどりと花を、一人ひとりが楽しみ協力しながら守り育てていくことを目指していく。

● 私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり

みどりに囲まれた暮らしの空間のなかで、みどりと花を楽しむ生活文化を育むとともに、歴史や文化を生かした個性ある地域のみどりを守り育て、ゆとりと安らぎのあるみどり豊かな地域づくりを目指していく。

● 地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり

私たちの生活に潤いと安らぎをもたらす山並みや緑地・農地のほか、街中を流れる河川などの身近なみどりを守り育てていくことで、地球環境や生物の多様性が保全される自然環境の連続化を目指していく。

● 私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり

ユニバーサルデザインによる公園緑地づくりの定着と、誰もが活用できる人に優しい公園緑地を目指していく。

<みどりの将来像図〔全体配置〕>



■ 将来目標(素案)

< 総目標 >

- ・全市における緑の総量の維持（緑被率）
- ・担保された緑の量
- ・樹林率
- ・ネットワークの数（みどりの延長、人）

< 個別目標 >

- 1 - （定量）
 - ・みどりに関する催事数・機会
 - ・みどりづくりに関わる個人・団体数
- 1 - （定量）
 - ・支援メニューの数・額
 - ・支援メニューの利用数
 - ・HP アクセス件数
- 1 - （定量）
 - ・技術研究成果の公表、実用化数
 - ・企業・大学等との連携事業数
- 2 -
 - ・コリドーの整備延長
 - ・花や街路樹によるネットワーク延長
- 2 -
 - ・緑視量
 - ・緑被率
 - ・軸の形成延長
 - ・オープンスペース面積
 - ・建築物緑化数
- 2 —
 - ・地域制緑地面積
 - ・学校、地域（町内会等）との協働によるみどりづくり数
 - ・公共地等の緑化数
 - ・保存樹木の数
 - ・意識調査（花・街路樹・みどりに関する満足度調査、感じ方調査）
 - 身近な地域において緑が豊であると感じている市民の割合
- 3 -
 - ・環状グリーンベルトの確保率

- ・都市環境林取得面積

3 -

- ・協働による森の育成活動数
- ・森に親しむ機会の数

3 -

- ・市内のみどりによる CO2 吸収量
- ・カーボンオフセット植樹面積

4 -

- ・公園再整備数
- ・バリアフリー化率
- ・防災公園の整備数

4 -

- ・公園満足度
- ・施設長寿命化更新実施率

4 -

- ・観光客の来訪者数
- ・活動を支える場の数
- ・冬期間の公園利用ルール締結数

< 環境基本計画より >

- ・公園面積
- ・多自然河川の整備延長
- ・市民との協働による植樹本数
- ・札幌が好きな理由として「緑が多く自然が豊か」と答える人の割合
- ・環境関連施設の利用者数
- ・環境教育・学習の取組み状況を把握評価するための手法体制を確立

■ 計画の体系

[基本理念]

実現しようみんなの手で
人とみどりが輝くさっぽろ

[基本理念を具体化するキーワード]

「つなぐ」(グリーンコリドープラン)

“みどりとみどりをつなぐ”

“みどりと人をつなぐ”

“人と人をつなぐ”

[みどりの将来像]

私たちが守り・育むみどり

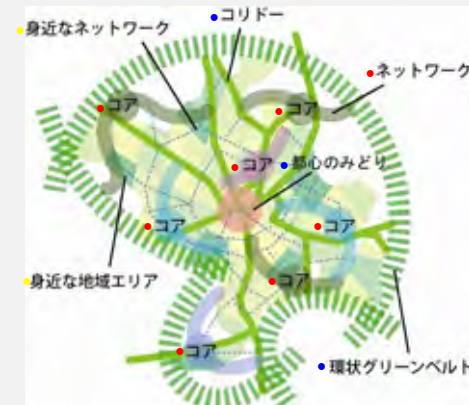
私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり

地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり

私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり

[“つなぐ”を実現するための手法]

みどりとみどりをつなぐ



- 札幌の骨格となるみどりづくり
- 地域をつなぐ特徴あるみどりづくり
- 私たちの身近なみどりづくり

みどりと人をつなぐ



- 緑とふれあう場・機会・協働の場の充実
- 自主的な活動の積極的な支援

人と人をつなぐ



- 人材育成・環境教育の推進
- 交流・情報ネットワークの充実

[推進プログラム]

<柱1>
市民等との協働の推進

みどりに関わる人の環を育みます
市民に活きる活かされる取組みを進めます
190万市民の知識と経験を活かします

<柱2>
街中のみどりの創出とネットワークづくり

みどりの回廊づくりを進めます
都心のみどりを充実します
地域らしい身近なみどりを創り・守り・育みます

<柱3>
街をとりまくみどりの保全・活用とネットワークづくり

みどりの保全や創出による環状グリーンベルトづくりを進めます
身近な森の活用を進めます
地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めます

<柱4>
公園の魅力の向上

安全安心と地域コミュニティを育む公園の管理・運営を進めます
人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します
市民ニーズを踏まえた利活用の促進を図ります

施策の方向性

施策の方向性

施策の方向性

施策の方向性

地域の活動指針

協働の活動指針

計画の進行管理

■ “つなぐ”を実現するための手法

札幌市では、「実現しようみんなの手で人とみどりが輝くさっぽろ」の基本理念を具体化するキーワード“つなぐ”を実現するために、「みどりとみどり」「みどりと人」「人と人」を包括的につなぎ、市民みんなの手で、みどりに包まれたまちづくりを進めます。

さらに、「みどりとみどり」「みどりと人」「人と人」をつなぐことで、次世代へみどりをつなぎ、そして、地球環境の保全につなげていきます。

～みどりとみどりをつなぐ～

札幌の骨格のみどり、地域をつなぐ特徴あるみどり、私たちの身近なみどりづくりを包括的に進めます。

～みどりと人をつなぐ～

みどりづくりと連携させながら、みどりとふれあう場・機会・協働の場の充実、自主的な活動の積極的な支援を包括的に進めます。

～人と人をつなぐ～

みどりづくりと連携させながら、人材育成・環境教育の推進、交流・情報ネットワークの充実を包括的に進めます。



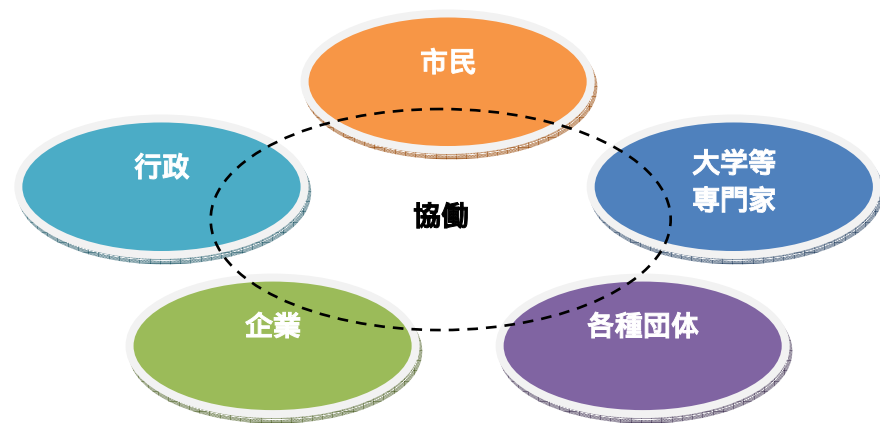
■ < 柱 1 > 推進プログラムにおける「施策の方向性」の考え方と「施策の方向性」につながるこれまでの審議や意見など							
推進プログラム		「施策の方向性」の考え方	施策の方向性	これまでの審議や意見など			
4 つの柱	1 2 のプログラム			みどりの将来像を考える視点	現計画の評価（課題）	審議会での意見	WS（H21.6）の意見
< 柱 1 > 市 民 等 と の 協 働 の 推 進	みどりに関わる 人の環を育みます	多くの市民がみどりに関わる活動に参加するためには、 ・実際に活動する市民、活動をコーディネート・サポートする市民など、多様な役割を担う市民を増やし、結びつけてあげること ・市民や企業などの活動が新たな展開へつながる連携を進めるために、情報提供やコミュニケーションの機会を創出すること ・緑化活動への関心の高まりへつながる各種イベントに、多くの市民が参加するように、魅力を高めていくこと ・将来の札幌市を担う子どもたちが緑化や環境への意識を高めていくことが必要である。	多様な担い手の育成 とつながりづくり		●リーダーの育成		●まずは自分たちで。住民の知見を高めることも必要。 ●リーダーや調整役、地域をトータルで見れる人材が必要。
			さまざまな活動の連携		●市民活動間のネットワークづくり	●市民、企業、活動団体との情報の送受信を双方向に整えることが必要	
			みどりへの関心を高める交流を促進		●市民団体や企業などと連携してより魅力ある取組として展開していく		
			子どもたちへの環境教育の推進	●家庭や学校、地域における自然教育の普及・展開 ●自然体験などの学習機会の拡充	●市民団体や企業などと連携してより魅力ある取組として展開していく		●子供を巻き込み次の世代につなげていく。
	市民に生きる活かされる取組みを進めます	市民への支援については ・様々な活動に対するそれぞれの活動状況に適した効果的な支援があること ・行政、市民、市民団体、企業などの様々な情報が効果的に提供されること ・市民活動が発展するために、既存施設などを活用して活動拠点の機能を充実させること ・地域や団体・企業の活動ばかりではなく、家庭における市民一人ひとりの取組みも大切にしていくことが必要である。	支援メニューの充実		●それぞれの活動状況に合わせた支援	●ボランティアを活性化させるため、これまで以上に行政からの働きかけが必要 ●民間が市民に公開した緑地をたくさん確保した場合には、容積率の割増や補助金等の制度があるとよい	
			魅力的で効果的な情報の提供	●誰もが簡単にわかりやすく得られるみどりに関する情報の提供	●活動拠点の機能や情報の受発信など市民とのコミュニケーション推進のしくみづくり ●個人や企業を含めたみどりに関する制度などの周知が必要	●市民、企業、活動団体との情報の送受信を双方向に整えることが必要	●今ある活動を大切に。まずは今の活動を紹介することから。
			活動拠点となる機能の充実		●活動拠点の機能や情報の受発信など市民とのコミュニケーション推進のしくみづくり		●人が集まれる場所があると良い。
			市民一人ひとりの取組みによるみどり豊かなまちづくり	●市民参画やパートナーシップによるみどりの保全・創出・活用 ●みどりと花を介した活動を企画運営から携わることによる街への愛着心の育み			
	1 9 0 万市民の知識と経験を活かします	札幌の風土・歴史・文化などの特徴あるみどりのまちづくりを進めるためには、 ・研究機関などと協力、協働によりみどりに関する調査や特殊緑化などの技術開発を進めること ・市民の知識と経験をみどりに関わる活動や人材育成などに活用することが必要である	技術開発・調査研究の推進・支援				
			市民の知識と経験を活かしたみどりづくり				●専門家や能力を持ったお年寄りをうまく使って！

推進プログラム

■ 推進プログラム 1 市民等との協働の推進

市民等との協働の推進は、これからの札幌市のまちづくりを進めるうえで重要な観点のひとつであるとともに、豊かなみどりづくりを進めるうえでも、みどりの将来像「私たちが守り・育むみどり」を実現するための施策展開の中心となる柱として位置づけられます。取組みに際しては、みどりづくりに関わる市民の環を育むとともに、さまざまな市民活動をより効果的にサポートするほか、市民の方々の経験や知識を活かしたみどりづくりに取組みます。

- 緑の協働の主体の考え方 ○
- 緑の基本計画における協働の主体は、市民、企業、NPO などの各種団体、大学等の教育・研究機関や専門家、行政を対象とします。



- みどりに関する協働のあり方と各主体の役割 ○
- みどりに関する協働のあり方も様々であり、本計画では大きく 3 つに整理し、それぞれのあり方に応じた、効果的な施策を展開していきます。

あり方	みどりに関する協働のあり方	みどりに関するコミュニケーション・参加・協力による協働	連携による協働
段階の考え方	・それぞれの主体が、独自に活動や情報発信を行っている	・主体同士で、参加や協力を呼びかけながら活動を行っている ・主体間において情報の交換や共有が行われている	・主体同士で、活動の目的を共有するとともに、役割分担や責任範囲を相互確認しながら活動している。
市民	・地域や公園のみどりづくり（手入れ）を個人的に取り組む ・みどりに関する情報を得ている	・それぞれの主体が企画するみどりの活動に参加している ・地域における活動に参加している。 ・それぞれの主体からの情報に対して、自らの情報や意見を伝えている ・地域におけるコミュニケーションの輪を広げている	・地域に即した様々な活動を、明確な責任範囲を持ちながら行っている ・地域の事情に即して行政では対応しにくい面をカバーしている
各種団体	・それぞれの団体が、独自の目的や意識の基に、活動、情報発信を行っている	・活動に際して、他の主体にも参加を呼びかけている ・みどりに関する専門的視点からのアドバイスや情報提供を行っている ・行政等が企画するみどりの活動において、参加するのみではなく、専門家としての関わりを持っている ・他の主体との情報交換や交流を行っている	・行政や市民が対応しにくい面を弾力的にカバーしている ・協働の活動において、専門的視点からアドバイスをしている ・活動団体などと、情報と活動のネットワークを形成するとともに、連携調整を行っている
企業	・社員意識の啓蒙などから、独自で緑化活動を行っている	・地域の緑化活動に積極的に参加している ・企業自らがみどりに関する活動や技術等の情報を発信、提供している	・企業の特徴を生かしながら、地域などへの社会貢献活動として、地域との融和を図り、地域活力を高めている ・地域の市民活動を側面から支援している
大学等・専門家	・研究成果や情報を広く社会に発信している	・みどりやその活動に対して、専門的・学術的視点からの情報提供やアドバイスを行っている	・それぞれの協働について、学術的、専門的視点から研究し、成果をフィードバックすることで、その充実に繋げている。
行政	・みどりに関する情報や施策を積極的に公開している。 ・緑の保全や緑化推進の場を確保している	・イベントの開催などを企画し、市民などが参加する機会を設けている。 ・各主体のみどりの活動に関わる機会を企画、調整しながら提供している	・講習や研修の機会を通して、活動に関わる人材の育成を進めている ・市民活動を助言、支援、調整している

■ 推進プログラム 柱1
市民等との協働の推進

プログラム	施策の方向性
みどりに関 わる人の環 を育みます	多様な担い手の育成とつながり づくり さまざまな活動の連携 みどりへの関心を高める交流の 促進 子どもたちへの環境教育の推進
市民に生き る活かされ る取組を進 めます	支援メニューの充実 魅力的で効果的な情報の提供 活動拠点となる機能の充実 市民一人ひとりの取組みによる みどり豊かなまちづくり
190万市 民の知識と 経験を活か します	技術開発・調査研究の推進・支援 市民の知識と経験を活かした みどりづくり

プログラム

みどりに関わる人の環を育みます

多くの市民がみどりに関わる活動に関わっていくため、活動に参加する市民を育てるとともに、市民一人ひとりのつながりを育て、行政と市民、市民と市民のネットワークづくりやコミュニケーションをこれまで以上に進め、みどりに関わる人の環を育てていきます。また、市民がみどりへの関心をより一層高めるきっかけとなるイベントを、これまで以上に魅力ある企画のもと進めるほか、未来の札幌を担う子どもたちにみどりや自然環境の大切さを伝える取組を進めます。

多様な担い手の育成とつながりづくり

【人材育成（ボランティア、リーダー）】

- ボランティア活動へ意欲的な市民のみどりや花の知識や技術の習得を進めるほか、地域や団体の活動のリーダーに対して市民活動の企画・コーディネートなどに関わるスキルを高めるなど、多様な担い手の育成と担い手同士のつながりづくりを積極的に進めます。

【既存の諸制度を活用した人材情報の把握と活用】

- 市民同士や団体同士が繋がりを深め、それぞれのみどりの活動がより一層充実するとともに広がりを持つように、公園ボランティア、森林ボランティア、さっぽろタウンガーデナーなどの制度を活用しながら、さまざまな分野に精通した人材を市民活動の展開に活かします。

さまざまな活動の連携

【情報提供・共有のしくみ】

- 市民、活動団体、学校、企業などの活動において、それぞれの活動の充実やその環の拡大、さらには新たな活動への展開を目指した連携を進めるために、それぞれの情報等を提供・共有するためのしくみを整えます。

【コミュニケーションの機会・場の創出】

- それぞれの活動の連携を図るとともに、広く市民に活動を紹介するために、活動の紹介や市民を交えた活動団体交流のイベントを開催するなど、活動団体同士のほか市民と活動団体都のコミュニケーションを図る機会や場を創出します。

みどりへの関心を高める交流の促進

【みどりに関わる人のすそ野を広げる交流を促進：魅力的なイベントの運営】

- みどりに関する活動に関わる市民や企業のすそ野を広げ、交流を促進するため、地域や団体、企業等の参画などを進めながら、植樹祭など森林や公園緑地における活動イベントのほか、市民ニーズを踏まえた魅力ある交流イベントなどについて企画・運営に取り組めます。

【同上：民間による魅力的なイベントに向けた支援】

- より多くの市民がイベントに参加できる機会を増やすため、本市のみではなく市民、企業、活動団体によるイベントの新たな開催や、内容の充実に向けて、それぞれのイベントに合わせた場の提供やPRなどの支援を進めます。

【同上：イベント参加促進のためのPR】

- 多くの市民がイベントに参加してもらえるように、本市のイベントのみならず、市民、企業、活動団体によるイベントについても、開催の情報を集約しながら市民へのPRを積極的に進めます。

子どもたちへの環境教育の推進

【各機関との連携によるイベントの開催】

- 将来の札幌を担う子どもたちが、みどりのみならず自然環境に対して親しみと興味、さらには理解を深めていくために、教育機関や関係部局などとの連携を図り、公園緑地や都市環境林、市民の森などにおいて、子供にとって魅力的なイベントを開催します。

【継続的環境教育の支援・推進】

- 教育機関や関係部局などとの連携を図りながらガイドブック・環境副教材の作成や、地域や活動団体などが行う環境教育活動への支援に取り組むことで、幼児からの継続的な環境教育を推進するとともに、活動の場や機会の提供も進めていきます。

プログラム

市民に生きる・活かされる取組みを進めます

市民の活動をサポートするための支援メニューの充実や、魅力的な情報提供、活動の場づくりなど、さまざまな施策に取り組み、市民一人ひとりの活動から多くの市民が連携した活動まで、みどり豊かなまちづくりにつながる取組みを促進します。

支援メニューの充実

【ボランティア活動の推進：ボランティア制度の充実】

- 市民自身によるみどりに関する活動をより一層推進するため、公園ボランティアや森林ボランティア、さっぽろタウンガーデナー（緑の愛護員）制度のほか、各種ボランティア制度と関連させながら、様々なボランティア活動のしくみやそれに対する支援のしくみを整えます。

【同上：機会の提供】

- 公園ボランティアや森林ボランティア、さっぽろタウンガーデナー（緑の愛護員）といった方々の専門的な知識・技術を効果的に活かしていくために、それぞれの活動の機会を市民活動などと連携して設けます。

【同上：インセンティブの創出、支援メニュー充実】

- 市民、活動団体、学校、企業などのみどりに関わる活動を、より一層充実し拡大するため、それらの活動に対して魅力あるインセンティブの創出や支援メニューの充実を図っていきます。

魅力的で効果的な情報の提供

【みどりの情報提供：行政による各種情報発信】

- 行政や市民、活動団体、学校、企業などの情報をより効果的に提供するため、みどりに関する行政情報をホームページや、さまざまな情報媒体を活用し、魅力的でわかりやすい情報として広く発信します。

【みどりの情報の双方向ネットワーク形成：各種媒体、フォーラム、交流会】

- 多様な主体間のネットワーク形成を図るため、行政、活動団体、企業間などの双方向のコミュニケーションを、ホームページやパンフレットなどの活用のほか、交流する機会や意見交換する機会の開催などによって推進し、積極的な情報交換を行います。

活動拠点となる機能の充実

【活動の場の充実】

- 自然観察、環境教育など公園緑地や都市環境林における活動をより一層推進するために、各活動団体の活動場所や内容、運営スタイルに応じて、活動の拠点機能を充実させます。

【運営体制充実のための仕組みづくり】

- 活動しやすく魅力的な拠点機能の充実を図るため、市民や民間等との連携による拠点づくりのしくみを整えます。

市民一人ひとりの取組みによるみどり豊かなまちづくり

【身近なみどりづくりの主体の環を広げる】

- 家庭でのみどりづくりや、市民一人ひとりのみどりづくりを、地域や街のみどりづくりに結び付けていくことで、身近なみどりづくりに参画する多様な主体の環を広げていきます。

【市民一人ひとりの取組み推進：サポートの充実】

- 地域の景観づくりにつなげるため、個人の住宅などにおける植樹やガーデニングに関して、栽培アドバイスや情報提供といったサポートなどを充実していくほか、コンテストの開催などによって、市民の機運を高めながら取組みを盛り上げていきます。

プログラム

190万人市民の知識と経験を活かします

札幌の風土・歴史・文化などの特徴を活かしたみどりのまちづくりを、市民・市民団体・学校・企業などと協力・連携しながら取組みます。

技術開発・調査研究の推進・支援

【協力・連携による調査・技術開発の推進】

- 札幌の気候風土や街並みに適したみどりの技術づくりを進めるため、学校・研究機関・行政機関等と協力・連携によりみどりに関する調査や技術開発を進めます。

【市民の自主的調査研究の支援】

- 市民や各種団体によるみどりに関わる調査研究がより一層進められるように、調査フィールドの提供等を含めて支援するしくみづくりを整えます。

市民の知識と経験を活かしたみどりづくり

- 札幌の風土・気候・植物・歴史・文化などの特徴を活かした花とみどりの豊かなまちづくりを進めるために、市民・活動団体・学校・企業などの知識や経験を活かしながら、みどりづくりを進めます。

■ < 柱 2 > 推進プログラムにおける「施策の方向性」の考え方と「施策の方向性」につながるこれまでの審議や意見など							
推進プログラム		「施策の方向性」の考え方	施策の方向性	これまでの審議や意見など			
4 つの柱	1 2 のプログラム			みどりの将来像を考える視点	現計画の評価（課題）	審議会での意見	WS（H21.6）の意見
< 柱 2 > 街中のみどりの創出とネットワークづくり	みどりの回廊づくりを進めます	連続したみどり豊かな街並みをつくるためには、 ・コリドーを軸とした骨格的なみどりのネットワークづくり、主要幹線道路などを活用した地域をつなぐみどりのネットワークづくり、地域の公園や未利用地を活用したきめ細かな地域のみどりのネットワークづくりを進めること ・街路樹を主体とした市民に親しまれる道路空間をつくるとともに、理解を得ること ・植樹樹やコミュニティガーデンなどを活用した花とみどりの道路景観をつくること が必要である	みどりのネットワーク形成	●河川や道路による街中とその周辺のみどりのネットワーク化での生物の移動空間の確保	●多様な生物の生息・生育環境に配慮しながら道路・河川を主体とするみどりの回廊づくりを進める必要がある。	●みどりのネットワークの具体化が課題 ●みどりがつながっていない	●公共のみどりと個人のみどりを繋ぐ ●みどりの回廊はぜひ進めて！そのためには住民と行政の接点が大事 ●学校や公園などを活用し生物の多様性を目指すまちづくりをしよう ●小さな川を活かしたみどりづくり ●地域に波及する公園づくり ●周辺だけではなく、まち中の自然のネットワークも必要
			市民に親しまれる街路樹づくり	●街路樹による潤いある快適な道路空間を形成			●街路樹を中心とした街づくり ●樹木更新を計画的に
			花とみどりの美しい道路景観づくり	●みどりや花に囲まれたゆとりと潤いのある暮らしの実現			
	都心のみどりを充実します	都心部のみどりの質を高めるためには、 ・大通、創成川通、駅前通、北3条通を「重要なみどりの軸」とするほか、大通公園、創成川公園、市役所などを拠点として、札幌の顔にふさわしい樹木を主体とした景観をつくること ・公園や道路などの公有地の緑化のほか、各種制度の運用や民間との連携により、花とみどり豊かな景観をつくること ・歴史を物語る象徴となる樹木を景観重要樹木制度などの活用を通して保全していくこと ・北国特有の花を用いたコンテナガーデンなどを活用した札幌らしい街並みづくりを推進すること が必要である	札幌の顔となる景観の創出	●国際都市さっぽろの顔にふさわしい自然を身近に感じられる都心の形成			●さっぽろらしさってなんだろう。創成川や大通などはみどりの軸！
			都心部のみどりの創出	●みどりや花に囲まれたゆとりと潤いのある暮らしの実現 ●効果的な建築物緑化による風格ある街並みの形成			●都心のみどりは行政のがんばりどころ ●都心部のみどりを保障（保全・創出）する仕組みが必要
			都心部の象徴となる樹木の保存				
			札幌らしい緑化の推進	●札幌らしい樹木や花による街並みの彩りの創出			
	地域らしい身近なみどりを創り・守り・育みます	地域のみどりを保全・創出・活用していくためには、 ・家庭や活動団体、学校、企業と連携しながら地域独自のみどりをつくっていくこと ・市民や各種団体、企業や大学等がみどりづくりに参画しやすいしくみをつくること ・みどりの保全や創出に関わるさまざまな制度を運用するとともに、身近なみどりを地域住民がみどりにふれあう場として活用すること が必要である	特徴ある花やみどりづくりを通したまちづくりの推進	●歴史的・象徴的・個性的なみどりの保全・創出 ●きめ細かなみどりの配置による快適な都市環境の創出 ●住宅の庭づくりなど民有地の緑化による地域緑化の推進	●市民との協働による市街地のみどりづくり		●みどりの機能分担を踏まえて、区ごと、地域ごとのみどりづくりを
			身近なみどりの創出のしくみづくり	●園芸活動や自然に親しむライフスタイルの定着	●市民との協働による市街地のみどりづくり ●既存施設や未利用地を活用	●街中のみどりや家の近くの小さなみどりは大事 ●街中の空地は都市の大事なみどりとして活用	●地域のみどりづくりは地域の状況に合わせた地域主体の取組みが必要 ●植樹樹・コミュニティガーデンでの花づくりを参加のきっかけに ●個人の庭づくり。北海道スタイルで
			地域を象徴するみどりの保全・創出と活用		●市街地またはその近郊における森林の活用のしくみについて検討 ●更なる地域制緑地の指定	●緑保全創出地域制度で創出されたみどりを残していくための有効な手段の検討が必要	

■ 推進プログラム 柱2

街中のみどりの創出とネットワークづくり

街中のみどりの創出とネットワークづくりは、札幌市の市街地のみどりが少ないといった課題の解決に向け、「私たち札幌の歴史と文化が薫る個性豊かなみどり」を実現するための施策展開の柱として位置づけられます。

その取組みに際しては、市街地のみどりの回廊（ネットワーク）づくりを進めながら、札幌の顔である都心部のみどりの充実とそれぞれの地域の特徴を活かした身近なみどりづくりを推進します。

地域
私たちが住む身近な周辺
地域を指す言葉として用
います

■ 推進プログラム2

街中のみどりの創出とネットワークづくり

プログラム	施策の方向性
みどりの回廊づくりを進めます	みどりのネットワーク形成 市民に親しまれる街路樹づくり 花とみどりの美しい道路景観づくり
都心のみどりを充実します	札幌の顔となる景観の創出 都心部のみどりの創出 都心部の象徴となる樹木の保存 札幌らしい緑化の推進
地域らしい身近なみどりを創り・守り・育みます	特徴ある花やみどりづくりを通したまちづくりの推進 身近なみどりの創出のしくみづくり 地域を象徴するみどりの保全・創出と活用

プログラム

みどりの回廊づくりを進めます

連続したみどり豊かな街並み、災害に強い都市環境をつくるため、みどりのネットワークづくりを、「主要な公園・緑地・道路・河川による6つのコリドー」、「主要幹線を中心としたみどりのネットワーク」、「地域の公園・緑地・民有地による身近なみどりのネットワーク」を軸にして、市民・活動団体・企業と連携しながら進めます。また、市民にとって身近な道路空間がより市民に親しまれるように、適切な街路樹の育成と花の活用を進め、北国らしいみどり豊かな道路景観づくりに取り組みます。

みどりのネットワーク形成

【みどりのネットワーク形成】

- 環状グリーンベルトに囲まれた市街地におけるみどりの連続化を図るため、豊平川を軸にした豊平川コリドーのほか、主要な公園・緑地や道路や河川による新川コリドー、創成川コリドー、北東コリドー、大通コリドー、南東コリドーの6つの「コリドー」を軸とした市街地の骨格的なみどりのネットワークを創出します。
- 特徴ある地域の取組を中心（コア）として、主要幹線などを主体にその取組を広げていくことで、地域をつなぐみどりのネットワークを創出します。
- 市民・活動団体・企業との連携や緑保全創出地域制度や、特別緑保全地区をはじめとした地域性緑地の制度の活用のほか、さまざまな手法を用いた緑化を進めることで、地域の公園・緑地・公共施設、民有地や未利用地などによるきめ細かな地域のみどりのネットワーク化を図ります。

地域性緑地制度

- ・特別緑地保全地区、保存樹林、緑化施設整備計画認定制度による緑化 など

市民に親しまれる街路樹づくり

【街路樹の質向上】

- 「コリドー」や「みどりのネットワーク」として位置づけられる主要幹線では、街路樹を主体として市民に親しまれる道路空間を目指し、街路樹の質向上に向けた計画的な管理・育成・樹木の更新を行っていきます。

【市民とともに進める街路樹の保護・育成】

- 市民とともに街路樹を守り・育てていくため、街路樹の効果や効用をPRしながら、街路樹に対する市民のより一層の理解を得ていくとともに、植栽環境に適した管理・育成・樹木の更新を行っていきます。

花とみどりの美しい道路景観づくり

- 北国らしい道路空間の創出を目指して、街路樹の保全と育成に加え、地域住民や企業との連携を通して植樹樹花壇やコミュニティガーデンのほかコンテナガーデンなど様々な手法を用いた緑化のしくみづくりを進めることで、街並みと一体となった連続的な花とみどりの道路景観づくりを、まちづくり活動の一環として推進します。

プログラム

都心のみどりを充実します

札幌の顔である都心部を「環境首都さっぽろ」にふさわしい街並みに作りあげるため、大通公園や創成川公園のほか札幌駅前通などの道路空間による軸と、公共施設による拠点的なみどりを主体に、民有地を活用したみどり豊かな景観づくりに取組みます。その際、貴重な樹木などを守るとともに、北国特有の華やかな花を活用するなど、札幌らしい緑化を進めます。

札幌の顔となる景観の創出

- 札幌の顔として市民が誇りに思い、訪れる人にとっても潤いと魅力を感じてもらえる都心空間の創出のために、大通公園などを「重要なみどりの軸」、西2丁目線などを「主なみどりの軸」とするほか、市役所本庁や時計台、道庁前庭、北大植物園などを拠点として、札幌の顔となる都心部における樹木を主体とした美しい景観を創出します。

重要なみどりの軸

大通公園、創成川公園、駅前通、北3条通

主なみどりの軸

西2丁目線、西3丁目線、北4条通、北5条通など

都心部のみどりの創出

【土地利用に合わせたみどりの創出】

- みどりを創出するスペースの少ない都心部において、さまざまな空間でのみどりの創出を進めるため、公園緑地や道路などの公有地のほかに、創世区などの開発予定地において質の高いみどりを確保していきます。

【民有地での緑化の推進】

- 地区計画などの各種制度の運用や、他部局や民間との連携のほか、さまざまな支援を活用して、事業者へのインセンティブを確保しつつ建築物緑化の推進やオープンスペースの緑化を進めるなど、民有地を活用した花とみどり豊かな景観づくりを推進します。

都心部の象徴となる樹木の保存

- 都心部の象徴的な景観を創りだすとともに、札幌の歴史を物語る貴重な樹木などの保全を、公有地のみならず民有地においても進めます。また、景観や環境づくりのほか人への安らぎや憩いを与えるといった、都市におけるみどりの機能大切さを積極的にＰＲすることで市民の理解と協力を得ながら、景観重要樹木や保存樹木の制度を通した保全に取り組めます。

札幌らしい緑化の推進

【コンテナガーデンによる街並みづくりの推進】

- 都心部における札幌らしい景観づくりの取組みとして、北国特有の華やかな花を用いたコンテナガーデンなどを活用した街並みづくりを、市民や企業との連携のもと進めます。

【建築物緑化、札幌らしい緑化の推進】

- 北国の積雪寒冷地の気候に適合した建築物緑化技術の開発や建築物緑化導入に対する支援の制度を整えながら、公有地もならず民有地においても気候風土や都市環境に合った札幌らしい緑化を進めていきます。

プログラム

地域らしい身近なみどりを創り・守り・育みます

市民・活動団体・学校・企業などと連携しながら、地域の歴史や文化と結びついた景観づくり、災害に強い地域環境づくりを、家庭をはじめとして地域の様々なオープンスペースを活用して進めることで、快適で特徴ある地域づくりと地域コミュニティの醸成を進めます。

また、様々な制度を活用して地域のみどりを保全・創出していくとともに、その活用も進めます。

特徴ある花やみどりづくりを通したまちづくりの推進

- 花やみどりづくりをきっかけとした特徴ある地域づくり・まちづくりを目指して、さまざまな施策を活用しながら、家庭や地域・活動団体・学校・企業との活動と連携し、地域の歴史や文化と結びついた独自の景観づくり、さらには、地域コミュニティの醸成へも繋がる取組みを推進します。

身近なみどりの創出のしくみづくり

【市民・各種団体がみどりづくりに参画しやすいしくみづくり】

- 植樹樹での花づくりや未利用地でのコミュニティガーデンづくり、公共施設や公共未利用地、民間の空き地などにおける地域のみどりづくりなど、市民や各種団体が、主体的に地域のみどりづくりに参画しやすいしくみづくりを進めます。

【企業や大学等がみどりづくりに参画しやすいしくみづくり】

- 地域におけるみどりづくりに対する企業の参画を促すため、活動に対するインセンティブの創出やみどりづくりに関する情報提供を行うなど、企業のＣＳＲ活動を支援するしくみづくりを進めます。

【市民一人ひとりの取組み推進：活動の場の提供】

- みどり豊かなまちづくりに向け、公園緑地や街路樹の整備といった行政の取組みに加えて、公園、植樹樹、未利用地など、地域のオープンスペースを活用した市民による植樹やガーデニングなどの地域や家庭における市民一人ひとりの取組みを積極的に進めます。

地域を象徴するみどりの保全・創出と活用

【各種制度の総合的な運用】

- 良好な景観維持に向けて、保存樹木制度や特別緑地保全地区の指定、地区計画など緑の保全・創出に関わる各種制度を、市民への普及啓発を図りながら積極的な運用を進め、地域に親しまれている樹林地などの保全や、身近なみどりづくりを総合的に推進します。

【身近な樹林地活用のための整備】

- 地域に親しまれている樹林地を、地域全体のみどりの資源(身近な森)として、地域住民がみどりとふれあう場として積極的に活用できるように効果的に整備を進めていきます。また、市民が森の活用を通してみどりを大切に守り育てる意識を、より一層高めながら地域に親しまれている樹林地といったみどりを次の世代に引き継いでいきます。

【緑保全創出地域制度の充実】

- 民有地のより一層の緑化を推進するために、さまざまな緑化手法についての情報提供を行うとともに、緑保全創出地域制度の充実を進めます。

■ < 柱 3 > 推進プログラムにおける「施策の方向性」の考え方と「施策の方向性」につながるこれまでの審議や意見など							
推進プログラム		「施策の方向性」の考え方	施策の方向性	これまでの審議や意見など			
4 つの柱	1 2 のプログラム			みどりの将来像を考える視点	現計画の評価（課題）	審議会での意見	WS（H21.6）の意見
< 柱 3 > 街をとり まくみど りの保 全・活用と ネットワ ークづく り	みどりの保全や 創出による環状グ リーンベルトづく りを進めます	環状グリーンベルトづくりを進めるためには、 ・市民参加の植樹祭などによる新たな森の創出や、拠点公園をつなぐ森林、農地、草地などを、条例などの運用により保全すること ・広域的な視点に配慮しながら、山地系の地域は、公有地化のほか、市民、活動団体、企業などとの協働による森林の育成管理、平地系の地域は、農地の持続的な利用や草地の保全のため、関連する各種制度や部局間の連携に取組むこと ・市民、活動団体、企業などとの協働による持続的な森林の育成管理に取組む環境をつくること が必要である	環状グリーンベルト構想の推進	●河川や道路による街中とその周辺のみどりのネットワーク化での生物の移動空間の確保 ●植樹活動などの市民による地球環境保全への取組のの推進	●多様な生物の生息・生育環境に配慮しながら道路・河川を主体とするみどりの回廊づくりを進める必要がある	●みどりのネットワークの具体化が課題 ●みどりがつながっていない ●環状グリーンベルトに加え、もっと広域的な視点も入れるべき ●「みどりの回廊づくり」という言葉はよい。それが、森林だけではなく札幌の環境に即したみどり(草原、湿地、川など))を含めて、「札幌本来の生態系ダイナニズムを取り戻していく」ということを掲げてよい。	●横断的な推進体制の確立が必要 ●グリーンベルトづくりを支える人のネットワークづくり ●行政の取組み（緑保全の優遇制度、効果的な行政の施策） ●緑の連続性が大切
			自然環境の保全と良好な都市環境の創出	●市民にとって心のふるさとである藻岩山と豊平川の美しい景観の維持 ●街を取り巻く山並みや自然豊かな河川の風景の保全 ●街の周辺や街中に残る自然風景・田園風景による街の潤いの創出	●緑地や農地の保全のしくみを検討する必要がある	●市街化調整区域のみどりや北東部農地の位置づけが課題 ●札幌市にとって草原は重要な環境のひとつ ●生態系の保全に関しては、低湿地帯の保全を視野に入れるべき	●山地系、平地系で場所ごとのグリーンベルトのイメージ・役割を共有しながら進める ●広域圏でのつながりを考えた計画に ●郷土種や消えゆく緑の保全も考える ●横断的な推進体制の確立が必要 ●行政の取組み（緑保全の優遇制度、効果的な行政の施策）
			森林の持続的な育成管理の推進		●効率的で適正な管理のしくみ		●行政の取組み（緑保全の優遇制度、効果的な行政の施策）
	身近な森の活用 を進めます	森の活用を進めるためには、 ・森の手入れ、自然観察、環境教育など、多様な市民活動に必要な機能の充実や効果的な支援をすること ・森林と親しむ場をつくることや魅力あるイベントなどの実施により、市民が森林とふれあうきっかけをつくること ・間伐材や落葉などのみどり資源を持続的に循環利用するしくみをつくること が必要である	市民活動のための機能整備や支援の充実		●市街地近郊における森林の活用のしくみについて検討する必要がある。		●管理活用のための人材育成
			森林と親しむ場や機会の充実	●さまざまなみどりとの関わりによる、環境に対する意識の醸成			●森を大切に思う気持ちも大事 ●情報発信・PR がまず必要
			みどり資源の有効利用の推進	●みどりのリサイクルの取組による、循環型・低負荷型の都市形成			
	地球環境や生物多 様性に配慮した みどりの保全と創 出を進めます	地球環境や生物多様性に配慮するためには、 ・効果的な情報発信や環境教育などにより、市民意識を醸成させること ・低炭素社会の実現に向け、二酸化炭素吸収源である森林の保全や整備を進めること ・生物の生息、生育地の保全と創出に努めるとともに、生息地の連続性を確保すること が必要である	地球環境や生物多様性の保全に向けた意識の醸成	●さまざまなみどりとの関わりによる、環境に対する意識の醸成 ●河川や道路による街中とその周辺のみどりのネットワーク化での生物の移動空間の確保	●多様な生物の生息・生育環境に配慮しながら道路・河川を主体とするみどりの回廊づくりを進める必要がある	●みどりに対する価値観が人それぞれ違うことから、みどりについて話し合える多様な機会が必要 ●市民への広報などとともに、気軽に情報や意見をメールできるインターネットの充実	●自然についての知識を持つ
			低炭素社会の実現に向けた取組みの推進	●森林の保全と創出による、大気の浄化や水質の保全 ●より多くの身近なみどりが、二酸化炭素吸収源として大きな効果を発揮 ●植樹活動などの市民による地球環境保全への取組の推進			
			生物多様性に配慮したみどりの保全と創出	●樹林地・緑地の保全・創出による、多様な動植物の生息・生育空間、生態系の保全 ●河川や道路による街中とその周辺のみどりのネットワーク化での生物の移動空間の確保	●多様な生物の生息・生育環境に配慮しながら道路・河川を主体とするみどりの回廊づくりを進める必要がある	●生態系や自然との共存・共生は重要な課題 ●生物多様性にとってのみどりの質が不足 ●国は生物多様性に関して自治体に具体目標を求めることから、生態系保全計画は難しいが緑の基本計画にもちりばめることが必要	●生物の保全は絶対に必要！メリハリある空間づくりを

■ 推進プログラム 柱3

街をとりまく、みどりの保全・活用とネットワークづくり

街をとりまく、みどりの保全・活用とネットワークづくりは、札幌市が進める環状グリーンベルト構想に位置付けられている山岳丘陵地の森林と、農地や草地など札幌固有の景観や良好な都市環境の形成に欠くことができない大切なみどりを保全・活用し、それらをネットワーク化することにより、みどりの将来像のひとつである「地球環境を守り、私たちと自然が共存するみどり」を実現するための施策展開の柱として位置づけられます。

その取組みに際しては、環状グリーンベルト構想を引き続き推進するとともに、市民等による身近なみどりの保全と活用、地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を推進していきます。

■ 推進プログラム3

街をとりまく、みどりの保全・活用とネットワークづくり

プログラム	施策の方向性
みどりの保全や創出による環状グリーンベルトづくりを進めます	環状グリーンベルト構想の推進 自然環境の保全と良好な都市環境の創出 森林の持続的な育成管理の推進
身近な森の活用を進めます	市民活動のための機能整備や支援の充実 森林と親しむ場や機会の充実 みどり資源の有効利用の推進
地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めます	地球環境や生物多様性の保全に向けた意識の醸成 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進 生物多様性に配慮したみどりの保全と創出

プログラム

みどりの保全や創出による環状グリーンベルトづくりを進めます

札幌の市街地を取り巻く森林・草地・農地などについて、周囲の街との連携や広域的な位置づけを踏まえ、それぞれの特性に応じて保全するとともに、新たな森づくりなどみどりの創出に努めます。

それらの公益的な機能の効果的な発揮に向け、市民・活動団体・企業などとの連携による持続的な育成や管理に取り組むことにより、札幌固有の景観や良好な都市環境を形成する環状グリーンベルトづくりを進めます。

環状グリーンベルト構想の推進

【制度の運用による環状グリーンベルトの形成】

○環状グリーンベルトの形成を推進するため、拠点となる公園緑地をつなぐ森林、農地、草地などについて、札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づく緑保全創出地域制度などによるみどりの保全に努めます。

【新たな森づくりの推進】

○環状グリーンベルトの拠点となる公園緑地の造成に合わせて、市民参加による植樹祭のほか、活動団体、学校、企業などとの協働による植樹・育樹、森の活用・保全を推進し、新たな森を創出します。

○市民、活動団体、学校、企業などが、より一層、植樹活動に参加できるような機会や場を提供し、協働による森づくりを推進します。

【河川緑地、農地の保全】

○河川を主体とした良好な緑地の保全や農地の持続的な利用について、関連する各種制度や部局間の連携による取組みを推進します。

【市民・企業・活動団体との協働による環状グリーンベルトの実現】

○市民・企業・活動団体との協働による森づくりや自然環境の保全を進め、環状グリーンベルトの形成を推進します。

自然環境の保全と良好な都市環境の創出

【自然環境の保全・創出のための制度の充実】

- 自然環境の保全とより良好な都市環境を創出するために、市内の自然環境やみどりの現況を踏まえるとともに、広域的な視点にも配慮しながら、各種制度の充実を進めていきます。

【山地系のみどりの保全と創出】

- 山地系のみどり(山岳丘陵地の森林)においては、森林の特性に応じて各種制度の活用や公有地化による保全を進めるとともに、市民・活動団体・企業などとの協働による持続的な育成や管理を進めます。

【平地系のみどりの保全と創出】

- 平地系のみどり(農地や草地など)においては、河川等における自然環境を保全するとともに、農地の持続的な利用や草地の保全などについて、各種制度の活用や部局間の連携によって取り組みます。

森林の持続的な育成管理の推進

【制度の活用による適切な森林の育成管理】

- 森林の持つ多様な公益的機能を保全・発揮・回復するために、各種制度の活用などによる適切な森林の育成管理を進めます。

【市民などとの協働による森林の育成管理の推進】

- 市民・企業・活動団体などとの協働による持続的な森林の育成管理を進めるため、市民意識の醸成や、ボランティア活動への支援、企業の取り組み促進に向けたインセンティブ創出などを進めるなど、より多くの市民・企業・活動団体が森林の育成管理に参画できるしくみづくりを進めます。

プログラム

身近な森の活用を進めます

都市環境林、市民の森などでは、市民による保全や活用に関する活動のより一層の推進のため、活動の場としての機能の充実や活動に対する支援の充実を図ります。あわせて森林資源の利活用などに対するより多くの市民の理解を得るための取組みを推進し、その場づくりや機会の提供を進めます。

市民活動のための機能充実や支援の充実

【森をフィールドとした市民活動に必要な機能の充実】

- 都市環境林や市民の森などが、市民活動のフィールドとしてより一層活用されるよう、森の手入れ、自然観察、環境教育といった多様な活動を行う上で必要な情報提供などの機能を、市民ニーズを踏まえて充実します。

【森の保全・活用のための人材育成と活用、効果的な支援】

- 身近な森の保全と活用を推進するための人材育成や、知識・技術を持った人材の活用を進めるとともに、市民・企業・活動団体・地域などによる森の保全・活用の取組みに対して効果的な支援を行っていきます。

森林と親しむ場や機会の充実

【身近な森林と親しむ場づくり】

- 森林との関わりが少ない市民に対して、森林の大切さや自ら守り育てることの重要性などに対する理解や意識の醸成、行動を起こす契機づくりのために、各種活動団体や企業、関係機関と連携しながら、白旗山都市環境林などの拠点となる場の充実や効果的な管理運営を進め、身近な森林と親しむ場づくりを進めます。

【身近な森林と親しむ機会の充実】

- より多くの市民が気軽に森林に親しみ楽しむことができるよう、札幌の森林に関する積極的な情報発信を進めながら、多様な市民ニーズを踏まえた魅力あるイベントの実施やプログラムづくりなど森林に親しむ機会の充実を図ります。

みどり資源の有効利用の推進

- 循環型社会の実現に向けて、市民意識の醸成や普及啓発を進めるとともに、公園や都市環境林等の間伐材、剪定枝、落葉、刈草などのみどり資源の有効利用による木質系バイオマス燃料としての活用を推進するなど、持続的な資源の循環利用のしくみづくりを進めます。

プログラム 地球環境や生物多様性に配慮した みどりの保全と創出を進めます

みどりの保全と創出を通じて、市民一人ひとりが、地球環境や生物多様性の保全、低炭素社会形成への理解をより深め、それらに向けた行動を実践につなげるためのみどりづくり、市民・企業・活動団体との協働による環境教育の推進、市民・企業・活動団体の活動への支援を進めます。

地球環境や生物多様性の保全に向けた意識の醸成

【意識醸成のための効果的な情報発信】

- 多くの市民が地球環境や生物多様性の保全へより関心を高めていくように積極的かつ効果的な情報発信を進めます。
- 【協働による環境教育のための場・機会の充実と人材の活用】
- 学校・関係機関・関連部局・活動団体との協働による、森林などのみどりを活用した環境教育の推進や体験学習の場や機会の充実を積極的に図るとともに、森林ボランティアや環境保全アドバイザーなどの人材の活用を進めます。

低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

【二酸化炭素吸収・固定源としての森林の保全と創出】

- 地球温暖化の防止などみどりの保全と創出を通じた低炭素社会の実現に向け、二酸化炭素の吸収・固定源となる森林の保全や創出を進めます。
- 【低炭素社会に向けた協働の取組みの推進】
- 低炭素社会の実現の担い手となる市民や企業の意識を高めながら、カーボンオフセット植樹や育樹活動などみどりを通じた環境負荷低減の取組みを、市民・企業・活動団体・地域などとの協働により推進します。

生物多様性に配慮したみどりの保全と創出

- 生物多様性の保全を図っていくために、札幌のみどりの現状や特性などを踏まえ、自然環境の保全や、森林、草地、水辺地などの保全や創出に努めるとともに、公園緑地や河川などを活用した生物の生息・生育地の連続性の確保を図ります。

■ < 柱 4 > 推進プログラムにおける「施策の方向性」の考え方と「施策の方向性」につながるこれまでの審議や意見など							
推進プログラム		「施策の方向性」の考え方	施策の方向性	これまでの審議や意見など			
4 つの柱	1 2 のプログラム			みどりの将来像を考える視点	現計画の評価（課題）	審議会での意見	WS（H21.6）の意見
< 柱 4 > 公園の魅力の向上	安全安心と地域コミュニティを育む公園の管理・運営を進めます	市民が安全安心な公園を利活用するためには ・安全を重視した適正な公園の維持管理を計画的に進めること ・地域の状況に合った公園の運営や施設の見直しを行うこと ・公園の維持管理や運営に市民が参画することや企業等の多様な主体が参画できるしくみを整えることが必要である	安全と効率を重視した公園の管理	●公園遊具などにおける事故を防いでいる安心安全なまちづくり	●公園の利活用や効果的・効率的な維持管理の取組を進める		●維持管理がローコストな公園づくり
			市民の満足を高め愛着を育む公園の運営と施設の見直し		●公園の利活用や効果的・効率的な維持管理の取組を進める		●指定管理者の評価には市民意見も
			公園の管理・運営への市民参画の推進		●市民参画のしくみについても検討する必要がある		●公園を通した地域づくり ●ハードよりソフト＝地域の力で。そのためには地域住民の覚悟も必要。 ●押し付けではない行政のサポートが必要
	人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します	公園のさまざまな機能を充実させるためには、 ・総合公園や運動公園などの地域における機能の充足度を踏まえた適正な配置と機能の分担の見直しを図り再整備すること ・地区公園、近隣公園、街区公園などの身近な公園には地域のニーズに合わせた機能分担を図り、再整備などにより地域に必要な機能を充実すること ・バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた公園づくりをすすめること ・みどりを主体とした街並みに適した良好な都市景観に寄与する公園づくりを進めること ・避難路、避難地、延焼防止などの機能が発揮される災害から市民を守る公園づくりを進めること ・地球環境や生物多様性などに配慮した環境保全に資する公園づくりを目指すことが必要である	大規模公園の機能の充実	●スポーツ、休養、散策などの余暇活動のための公園や緑地の適正な配置・ネットワーク化 ●災害時の救援活動拠点としての公園の適正な配置 ●地すべりや市街地の水害防止、騒音・振動を緩和する緑地の適正な配置による健全な生活空間の確保		●新しく緑地をつくるために用地を取得して維持管理する費用の確保は難しい ●大きな公園を造るにあたり、多くのランニングコストがかかることから、経済性の視点が重要	●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保）
			身近な公園の効果的な配置	●スポーツ、休養、散策などの余暇活動のための公園や緑地の適正な配置・ネットワーク化 ●災害時の救援活動拠点としての公園の適正な配置 ●地すべりや市街地の水害防止、騒音・振動を緩和する緑地の適正な配置による健全な生活空間の確保			●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保） ●使われていない公園を活用・再生する ●公園の少ないところは工夫して創出する
			全ての人にやさしい公園づくり	●ノーマライゼーションの思想に基づいたみどりづくり ●バリアフリー、ユニバーサルデザインの定着 ●公園遊具などにおける事故を防いでいる安心安全なまちづくり			●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保）
			都市景観に配慮した公園づくり				●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保）
			災害に強いまちづくりに資する公園づくり	●災害時の避難地、避難路、延焼防止帯としてオープンスペースの適正な配置・ネットワーク化 ●災害時の救援活動拠点としての公園の適正な配置 ●地すべりや市街地の水害防止、騒音・振動を緩和する緑地の適正な配置による健全な生活空間の確保			●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保）
			環境保全に資する公園づくり				●公園充実化のために必要な視点（ネットワーク、生物多様性、防災機能、北方型公園、ユニバーサル、緑の空間確保）
	市民ニーズを踏まえた利活用の促進を図ります	より多くの人が公園を利活用するためには ・市民や観光客が楽しめる魅力ある公園づくりを進めること ・市民や活動団体などと連携しながら公園を活用することや活動への支援のしくみを整えること ・スキーや雪のたい積など冬季間の活用を促進することが必要である	市民や観光客にとって魅力ある公園づくり	●公園緑地を活用した余暇活動による心身の健康増進 ●みどりを通した人とのふれあいによる、心のやすらぎなどの精神的な充足感の向上	●公園の利活用や効果的・効率的な維持管理の取組を進める		●観光資源であるモエレ。まずは自分たちで楽しもう ●もっと情報発信を
			市民に親しまれ活用される公園づくり	●公園緑地を活用した余暇活動による心身の健康増進 ●みどりを通した人とのふれあいによる、心のやすらぎなどの精神的な充足感の向上	●公園の利活用や効果的・効率的な維持管理の取組を進める		●ミニパークセンター構想を目指そう
			冬季間における公園の活用の促進	●公園緑地を活用した余暇活動による心身の健康増進 ●みどりを通した人とのふれあいによる、心のやすらぎなどの精神的な充足感の向上 ●快適な冬のくらしに向けたオープンスペースの活用			●現代のニーズ・地域ごとのテーマで考える

■推進プログラム 柱4 公園の魅力の向上

公園の魅力の向上は、札幌市でこれまで整備してきた2,600を超える都市公園が持つ様々な機能を、より効率的・効果的に発揮させることで、「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」を実現するための施策展開の柱として位置づけられます。

取組みに際しては、市民が安全かつ安心して利用できる公園の管理運営に取組むとともに、公園の機能を充実させ、市民の声を踏まえた公園の利活用を進めます。

■推進プログラム4 公園の魅力の向上

プログラム	施策の方向性
安全安心と地域コミュニティを育む公園の管理・運営を進めます	安全と効率を重視した公園の管理 市民の満足度を高め愛着を育む公園の運営と施設の見直し 公園の管理・運営への市民参画の推進
人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します	大規模公園の機能の充実 身近な公園の効果的な配置 全ての人にやさしい公園づくり 都市景観に配慮した公園づくり 災害に強いまちづくりに資する公園づくり 環境保全に資する公園づくり
市民のニーズを踏まえた利活用の促進を図ります	市民や観光客にとって魅力ある公園づくり 市民に親しまれ活用される公園づくり 冬季間における公園の活用の促進

プログラム

安全安心と地域コミュニティを育む公園の管理・運営を進めます

安全と効率を重視した公園の管理と、地域特性や市民ニーズを踏まえた市民の満足度を高め愛着を育む公園運営と施設の見直しを進めるとともに、市民・活動団体・企業などと連携した公園管理・運営を進めます。

安全と効率を重視した公園の管理

- 市民が安心して公園を利用できるよう、安全を重視した管理を進めるとともに、より一層の計画的かつ効率的な維持管理運営や樹木更新に取組むことで施設等の長寿命化を図ります。

市民の満足度を高め愛着を育む公園の運営と施設の見直し

- 市民の満足度を高めるために、それぞれの公園において、市民ニーズを把握するなど、地域の状況を踏まえつつ、利用者の視点に立った公園の運営と施設の見直しを行い、市民に愛される公園づくりを進めます。

公園の管理・運営への市民参画の推進

【多様な市民による管理運営への参画の推進】

- 個人・団体などの多様な市民による公園の管理や運営への参画を推進することで、市民がみどりとふれあうことができる機会を増やすとともに、公園における市民の活動を起点とした地域コミュニティの醸成につなげていきます。

【協働による管理運営のためのしくみづくり】

- 設置許可やPPP、PFIなどの民間資金の活用、CSR企業へのインセンティブの導入などを検討し、多様な主体による公園管理のしくみを整え、協働による公園の管理運営体制の確立を目指します。

プログラム

人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します

公園の充足度のほか、地域特性や市民ニーズを踏まえて公園の配置や機能の分担を見直し、環境保全、まちの景観づくり、災害に強いまちづくり、市民のレクリエーション活動の促進などに寄与する公園機能の充実を効果的に進めるとともに、誰もが利用しやすい公園づくりを進めます。

大規模公園の機能の充実

- 環境保全、景観づくり、災害に強いまちづくり、市民のレクリエーション活動の促進など公園が持つ機能について、地域の充足度を踏まえたうえで、配置や機能のあり方を検討しながら既存の大規模公園（都市基幹公園等）の再整備を進めます。

身近な公園の効果的な配置

【エリア毎の機能分担の見直しを踏まえた公園の再整備】

- 身近な公園（住区基幹公園等）については、地域ニーズや評価、地域特性や配置状況等を踏まえ、エリアごとに機能の分担を図ったうえで再整備を進めます。

【公園が少ないエリアでの公園づくり】

- 旧市街地など公園が少ないエリアでは、さまざまなオープンスペースを活用して、公園機能の確保を進めていきます。

全ての人にやさしい公園づくり

- 全ての人にやさしい公園づくりを目指し、高齢者や障がい者、幼稚園などのニーズを踏まえ、多様な市民の参画のもと、どこでも・だれでも・自由に・使いやすい公園づくりを進めます。

都市景観に配慮した公園づくり

- みどりを主体とした街並みを目指し、公園の位置や規模、周囲の環境などを踏まえながら、適正な樹木更新や植栽配置、花づくりによる施設づくりなど、札幌の都市景観に配慮した公園づくりを行います。

災害に強いまちづくりに資する公園づくり

【災害に強い公園づくり】

- 災害に強いまちづくりを推進するため、防災計画に基づいた避難路、避難地としての公園の機能に加え、樹林などによる延焼防止など、市街地における公園の効果的な防災機能の充実を図り、関係部局や地域と連携しながら、安心して安全な公園づくり推進します。

【公園緑地の防災機能のPR】

- 災害時における公園緑地の重要性について、市民の理解を深めるとともに、公園緑地における防災機能のPRを進め、防災面でのみどりの効果についての市民理解を深めます。

環境保全に資する公園づくり

- 地球環境の保全や生物多様性の保全のため、公園の位置や規模、周囲の環境などを踏まえ、公園内の樹木の維持や適正な植樹を行うなど、生物の生息に配慮しながら環境保全に資する公園づくりを進めます。

プログラム

市民ニーズを踏まえた利活用の促進を図ります

市民や観光に訪れた人々がより楽しめるよう、公園の特徴を活かした魅力づくりを進めるとともに、市民が安心して集い・安らぎ・楽しめる地域の公園づくりを、市民・活動団体・企業と連携して進めます。

市民や観光客にとって魅力ある公園づくり

- 拠点公園などの主要な公園において、市民ニーズを踏まえ、指定管理者や活動団体、企業との連携によりそれぞれの特徴を活かした魅力を一層高めることで、市民や観光客がこれまで以上に楽しむことができる魅力的な公園づくりを推進するとともに、より効果的なPRを進めます。

市民に親しまれ活用される公園づくり

【市民との連携による公園活用の推進】

- 安心して活用できる公園があるまちづくりのために、主要な公園に限らず地域の公園緑地においても市民のニーズを踏まえながら、市民や活動団体などとの連携による公園の活用を推進します。

【公園を活用した市民活動の支援】

- 公園をフィールドとした市民や活動団体の活動に対する支援のしくみづくりのほか、既存ストックの活用などにより活動を支える場づくりを進めます。

冬季間における公園の活用の促進

- 快適な冬の暮らしを実現するために、スキーや雪遊びなどに活用できるオープンスペースや施設の配置に配慮するとともに、雪置き場、雪たい積場としての利用などについては、冬季間における公園の活用ルールをつくり、より一層市民に活用される公園づくりを推進します。